

平成30年度 第1回市民協働推進委員会 議事録

- 1 日時 平成30年6月21日(木) 午後6時00分から午後7時30分
- 2 場所 豊川市役所 本34会議室
- 3 出席者 会長 神谷 典江・・・(特非) 穂の国まちづくりネットワーク
委員 荒木 夏希・・・(特非) どんぐりの会
委員 乙部 法行・・・元豊川市連区長会副会長
委員 小栗 慎平・・・豊川高校インターアクトクラブ顧問
委員 塩野 友麻・・・一般公募市民
委員 山口恵梨花・・・一般公募市民
委員 稲垣 誠・・・ひまわり農業協同組合
委員 竹尾祐三子・・・豊川市社会福祉協議会地域福祉課長補佐
副会長 鈴木 敏彰・・・豊川市市民部長

4 事務局 市民部次長、市民協働国際課長、課長補佐、市民協働係長 係員

5 傍聴者 0名

6 議事概要

(1) 市長挨拶

(2) 委員の委嘱及び任命、各委員及び事務局の自己紹介

(3) 会長、副会長の選出

会長・・・神谷典江委員を選出

副会長・・・会長が鈴木敏彰委員を指名

(1) 「とよかわ市民協働基本方針」実施計画における平成29年度実施施策の評価について

【事務局】

平成25年3月に策定した「とよかわ市民協働基本方針」実施計画期間が平成25年度から平成29年度であり、進捗状況の評価の客観性を高めるために、毎年、市民協働推進委員会で評価をしている。平成29年度が実施計画期間の最終年度となるため、ほぼ前年どおりの実施内容となっており、そのような事業についての自己評価は前年同様の点数をつけている。委員の評価は毎年、各課にフィードバックしており、評価内容に基づいて事業の進行しているため、評価の推移は毎年少しずつ上がっているのを確認していただけたらと思う。今から平成29年度に特に力を入れた事業について説明をするので、評価の参考として欲しい。

評価票については、7月13日(金)を目処に返信用封筒を利用するなどして返していただきたい。

【会長】

この評価をするのが、この委員会での最初の仕事。初めての委員は評価量が多くて

ビックリしたと思うが、毎年、この評価はできているので大丈夫だと思う。行政が取り組んできた事について、まず自己評価として点数をつけて、客観性を高めるために委員会でも評価を行い、一緒に市民協働の推進を図っていきましょうというねらいがある。この評価はこの委員会にとって、とても大切な仕事であると考えている。さきほど、市が力を入れたと説明があった事業について、委員のみなさんに考慮していただきたいという話があったと思うが、疑問に思った部分はあるか？

【委員】

自分が関わった事業が多くてビックリした。市がこのような計画で進めていると分かってよかった。

【会長】

この評価をして、大変だと感じるところがあると思うので、議題2のとよかわ市民協働推進計画における評価方法に意見を出していただきたい。

【委員】

評価の理由については、それぞれ必ず書く必要があるのか。

【事務局】

特記したいことがある事業についてのみ記入をお願いしている。

【委員】

評価票に委員名が入っているが、この評価をつけたのが誰かというのを把握しないとダメか。

【事務局】

各委員にそれぞれ評価点をつけていただくが、みなさんがつけた評価点を足して委員数で割り返したものが公表される。ただ、さきほどご質問いただいた「評価の理由」に記入がある場合に、事務局として聞きたいことがあった場合に、どの委員の意見かわからないと質問ができないので、氏名入りで回答をいただきたい。

【会長】

評価の公表で委員名が記載されることはないので、安心してほしい。事務局から説明があったとおり、7月13日を目処に返信することとしていいか。

(2) 「とよかわ市民協働推進計画」の評価方法について

【事務局】

昨年度の委員のみなさまにご協力いただき、平成30年3月に「とよかわ市民協働推進計画」を策定した。この計画においても、事業の実効性を高めるために施策の進行状況について、市民協働推進委員会に進捗状況を報告し、意見を求め、計画の適切な管理を行うことをうたっている。議題1でお願いした、基本方針における実施計画の評価について、評価件数が多いことや、評価点の考え方があいまいで評価が大変だという声を、これまでに評価していただいた委員から聞いている。計画では、方針ごとに2～4の目標指標を設定しているのので、その達成状況で評価する方法も考えられる。他市の状況や委員の意見をいただき、計画における評価方法を考えていきたい。

【会長】

議題1で今年やらなければならない評価について、説明があった。来年度からは新しい計画についての評価をしていくこととなるが、その評価方法をどのようにしたらいいのかというのを事務局が思案している。前年度に評価をした委員は、この評価についてどのように感じたか。

【委員】

多くの事業を評価するのに、基準もあいまいであったため、自分の感覚での評価になってしまい、本当にこれで大丈夫なのかと心配になった。この事業をこのまま進めて効果があるのか、ないのかという評価、〇×のような分かり易いと思う。

【会長】

さきほどの委員のように、自分が関わった事業であれば評価しやすいとは思いますが、紙面上での報告を受けて評価をするのは本当に難しいと感じている。やっている人からすれば、こんな評価がつけられたと思うところはあると思う。ただ、委員評価によって行政がこのまま事業を継続していくか、やり方を変える必要があるのかという判断をしていくので、数値の基準が必要だと思う。今までのように1～5の5段階評価をするのが適当なのか、若い委員の意見をお聞きしたい。

【委員】

5段階評価には抵抗はない。ただ、その基準がそれぞれの感覚になってしまうのが問題とされているが、個人差が出るのはしょうがないのかと思う。同じ視点でないにしても、同じ事業に1をつける人と5をつける人がいるという事はなく、3か4で分かれるというくらいの評価の違いになると思うので、5段階評価でいいと思う。

【事務局】

今までの41施策について全て評価点をつける方法が委員のみなさまの手間を取

らせていたと感じているので、評価をする対象を事業毎ではなく、今回は目標指標を定めているので、指標を生かした評価方法も考えられるのではないかと考えている。いろんな施策について、委員のみなさまに知っていただく必要はあるので、事業毎の進捗状況を委員のみなさまに報告させていただくことはさせていただく。評価点をつけるのを15の目標指標について、事業報告を加味しながら評価していただくことはどうかと考えている。5段階評価とするにしても、目的の達成度の基準がなかったところに、指標で数値を示しているの、公平で客観的な評価ができるのではないかと事務局では考えている。

【会長】

評価数が減るのは、委員の負担が減るので歓迎する。基本方針の評価では、再掲として掲載されている内容が多く、同じ内容にいくつも評価をしなければならないことに、大変さを感じていた。指標にある数字を見て、それに基づいて評価をしていくことは公平性も保てるし、効果的な評価となるのかと思う。

【委員】

委員としては、数値目標に対して評価をする事でいいのかと考えているが、行政側の評価は提示してもらいたい。

【事務局】

それぞれの事業の実績は、担当課から報告をしてもらいまとめていく。

【委員】

行政側の評価、その事業の取り組みについてどのように考えているのかは見てみたい。

【事務局】

今のお話は、行政として43事業の評価をしていく必要があるという事か。評価点をつけるのは、委員であっても行政であっても主観的になってしまうので、難しさを感じている。取り組み状況の報告はさせていただく。

【会長】

それぞれの事業についての進捗状況は委員会へ報告してもらうのは必要だと考えるが、その事業についての自己評価は、委員評価には何の影響ももたらさないものだと思う。

【委員】

社協でも評価をするようなものがある。担当している部署に評価依頼をして、社協

でまとめている。評価方法については何年間も同じやり方をしているが、今のところは評価方法について意見をいただいている。

【会長】

何年も同じことをやっているのは工夫がないという事になり兼ねない。今回、新しく計画を策定したので、効果的な評価方法で市民協働の推進を図って行きたい。本日、委員から出た意見も考慮して、次回に事務局（案）を作ってもらい、再度審議することとする。

(3) 「協働の手引き」の内容の見直しについて

【事務局】

平成25年度の市民協働推進委員会で審議されて作成された「協働の手引き」の在庫が少なくなってきたことから、今年度増刷する予定。この手引きは「とよかわ市民協働基本方針」の中で協働推進の方針の中で協働の普及・啓発をする目的で、6,000部作成し、協働の研修などで使ってきた。掲載されているイラストや写真が古いので、内容の見直しと合わせて、修正を加えて印刷し直したいと考えている。委員が見て、修正を加えたいと思うところをご提案いただきたい。

【会長】

(案)で示されたものは、ほとんど変化がなく、工夫がない。

【委員】

字体に変化がなく、見づらいつ感じる。

【事務局】

たたき台は、職員がワードで作成するくらいのもので、こんなものしかできないが、印刷依頼をかけるときには業者にデザインもお願いするので、イラストやフォントもこだわったものにできると考えている。市民、特に若い方に見てもらえるような手引きにするには、ビジュアル的なものが大事だと思うので、パッと見てもらって気になることを言って欲しい。内容についても、意見をいただきたいと思っているが、事務局が委員に事前に見ていただく時間を取れなかったため、本日はビジュアル的なところのご意見になってしまうのかと思っている。内容については、持ち帰っていただき、後日、ご意見があるようだったら出していただきたいと考えている。

【会長】

内容についてのご意見はそれぞれで事務局に届けることとして、パッと見た感じでどう思うか。

【委員】

学校の副教材で配布されるものを思い出す。学生に授業の一環で見てもらう用途で作るのであればいいかと思う。授業の一環ではない状況で若者に見て欲しいというのなら、内容が固い。

【委員】

写真の撮り方や載せ方が古い。写真のアピール力が弱いと感じる。これだけ多くの写真を掲載するなら、市民協働の活動のよさが伝わるものでないといけない。

【委員】

写真が左右のページにきれいに並んでいるのが教科書っぽくて、固いと感じるところかと思う。写真の形を変えて載せるとか見せる工夫が必要だと思う。

【委員】

豊川市に住んでいるが、この手引きを初めて見た。どのように活用され、誰に配布されているのか。

【事務局】

平成25年に6,000部作成され、市民活動団体や町内会に配布、講座などで使用してきた。全戸配布できるだけの部数はなかった。

【会長】

限られた人が見るとい形にしかならないのはよくないと思うが、協働への取り組みが始まってから、まだ日が浅く、全戸配布するだけの予算がつかなかったのではと思う。HPで見られるようにしたり、QRコードで簡単に見られるような工夫は必要だと思う。

協働のマークもさきほどの事務局の説明にあったように、この手引きを作ったときに市職員がデザインしたもので、このマークが豊川市の協働のシンボルになって、だんだん協働が進められてきている。

【委員】

いろいろなパンフレットを見ているが、このデザインはないと思う。手引きというのは、手に取って見てもらわないと意味がないと思うが、これでは手にとってもらえない。さきほどの写真が左右対称に並んでいるのが教科書みたいだと他の委員から意

見があったが、この写真の配置が堅苦しくて、見たいと思えないと感じる。

【会長】

豊川市の宣伝媒体の1つになれるように、多くの人の意見を聞く、他の冊子を参考に
にして作って欲しい。

今日は、内容まで入れる時間がなかったので、ビジュアル的なところのご意見を
いただいたが、持ち帰って内容を見てもらって、もっとこの方がいいという意見があっ
たら、委員の意見も事務局に届けてもらって、みんなで一緒に手引きを修正して、増
刷していきたいと思う。

3 その他

【事務局】

議題1の評価票については、7月13日（金）を目処に返信をお願いしたい。議題
2、3については、本日、委員のみなさまからいただいた意見を反映させた、たたき
台を次回の委員会で提示する。持ち帰って、お気づきになられるところあれば、事務
局までご意見をいただきたい。

【委員】

評価票のデータを送って欲しい。

【事務局】

明日にでも、各委員のアドレスへ評価票のデータを送らせてもらおう。次回の委員会
は9月20日（木）18時からこの場所で行う。